

いま、日中関係を考える

—大学生からみた「過去」「現在」「未来」—

2014年11月18日(火)

宇都宮大学 大学会館多目的ホール



プログラム

- 12:50 あいさつ 進村 武男(宇都宮大学長)
田巻 松雄(宇都宮大学国際学部長)
- 13:00 基調講演 天児 慧 (早稲田大学大学院教授)
「日中関係について今思うこと」
徐 顕芬 (華東師範大学教授)
「日中関係の制度化をめざして」
- 14:10 質疑応答
- 14:20 休憩
- 14:30 パネルディスカッション「学生からみた日中関係」
司 会：松村 史紀(宇都宮大学国際学部講師)
パネリスト：梁 惠娣(華東師範大学院生)
「国家間の相互信頼と日中関係」
宇都宮大学院生・学生
「テーマ① アメリカを含む日中関係」
「テーマ② 日本の平和主義と中国」
「テーマ③ マスメディアを通して考える日中関係」
- 15:30 コメント
コメンテーター：重田 康博(宇都宮大学国際学部教授)
天児 慧(早稲田大学大学院教授)
徐 顕芬(華東師範大学教授) ほか
- 15:50 質疑応答
- 16:25 閉会のあいさつ 渡邊 直樹(宇都宮大学国際学部教授、
多文化公共圏センター長)
- 16:30 終了



1972年の日中国交正常化以来、日中関係は最も緊張している。

いま、両国の「過去」と「現在」を見つめ、「未来」を構想する。

将来を担う両国の大学生が、国籍を問わず率直に議論する。

主催 / 宇都宮大学国際学部 ・ 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター

宇都宮大学生国際連携シンポジウム学生実行委員会2014

後援 / 栃木県、宇都宮市